

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-5	車道基本の自転車通行環境整備による交通事故特性と新たな道路交通安全改善策に関する研究開発	大阪市立大学大学院 准教授 吉田 長裕	B
<p><研究の概要></p> <p>自転車の車道走行と広域化に伴う事故特性を把握し、自動車・自転車のコンフリクトを再現する仮想道路空間実験による科学的知見に基づき、新たな道路交通安全改善策とともに持続可能な安全の段階的向上策を提案する。</p> <p><中間評価結果></p> <ol style="list-style-type: none"> 研究成果については、国内だけでなく、国際会議や国際ジャーナル等でも積極的に発信して頂くことを希望する。 とりまとめ時には、道路行政へのインプットを明確にさせていただくことを期待する。 <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 協調型サイクルシミュレータを共通プラットフォームとしてオープン化する方向性は望ましいと考える。そのためにも、協調型サイクルシミュレータの有する特性を明らかにするため、再現性の検証については、各車両の走行挙動、運転者の主観的評価なども含めたより効果的な実施を検討されたい。それらを踏まえたシミュレータの適用範囲や限界などについても整理されることが望ましい。 本研究を社会実装したときに、実務者が、設計段階からのプロアクティブな安全対策のこれまでの対策との違い、その効果等がわかり、実務にとって有効な対策検討であることが理解できるように、研究を加速化して頂きたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第45回新道路技術会議において審議したものである。